

3. 剣岳

1) 日程

1984年09月21日～09月24日（前夜発3泊4日小屋泊）

2) コース

第1日 信濃大町―扇―黒部ダム―黒部平―大観峰―室堂―一ノ越―大汝山―真砂岳―別山―剣沢小屋

第2日 剣沢小屋―前剣―剣岳―前剣―剣沢小屋―真砂沢ロッジ―二股―仙人池ヒュッテ

第3日 仙人池ヒュッテ（一池の平）―阿曾原―水平歩道―ケヤキ平―祖母谷温泉

第4日 祖母谷温泉―ケヤキ平―宇奈月

3) 記録&コースタイム

年月日	時間		場所	備考
1984.09.21				今回は30歳になり、新たな気持ちで山登りを始めようと思い、15年前に高校のクラブで始めて登ったアルプスの、剣岳に行くことにした。
			黒部ダム	大町から観光客気分、バスで扇沢、トロリーバスで黒部ダムへ。その威容には確かに人を圧するものがある、しかし未来のピラミッドか、とふと思う。
	09:45	発	室堂	りっぱな石畳の道を観光気分で出発。
	10:30	着	一ノ越	やっと登山道となる。
	10:50	発		
	11:35	着	五ノ越	
	11:47	発		
	12:05	通過	大汝山	雄山はどこかの神様が柵を作って、お金を出さないと入れてくれず通過。
	11:00	着	真砂岳	
	11:45	発		
	13:35	発	別山	風を避けて岩陰でやたら大きな剣岳を見ていると心がカラッポになる。
	14:30	着		
	15:00	着	剣沢小屋	一人一部屋で手足を伸ばして寝る。
1984.09.22	04:00	起床	剣沢小屋	朝食を作っていると、小屋の人が起きてくる。
	05:33	発		

1984.09.22	06:04	着	一服剣	
	06:25	発		
	07:00	着	前剣	岩場は順番待ち程度で、15年前のような渋滞もなくスムーズに。
	07:05	発		
	07:35	着	避難小屋	
	07:40	発		
	08:03	着	剣岳	30歳の剣岳は、ゆったりと落ち着いた気分だった。
	08:40	発		
	09:12	着	前剣	
	09:15	発		
	09:35	着	一服剣	
	09:40	発		
	10:23	着	剣沢小屋	
	11:00	発		
	12:15	着	真砂沢ロッジ	昼食をとる。
	13:00	発		
	13:40	着	二股	
	14:00	発		
	14:50	着	レスト	
	15:00	発		
16:00	着	仙人峠		
16:05	発			
16:20	着	仙人池ヒュッテ		
1984.09.23	04:15	起床	仙人池ヒュッテ	
	05:00	発		池の平へ、仙人池に映る剣岳を見に行く。
	07:45	着		
	08:45	着	仙人湯	誰もいず、道脇の温泉に入りたい誘惑にかられる。
	09:00	発		
	10:25	着	阿曾原	昼食をとる。 水平歩道へ。
	11:35	発		
	12:35	着	レスト	滝をボーっと見ている間に30分もたってしまった。
	13:00	発		
	14:15	着	レスト	その名のとおりどこまでもがけを削

1984.09.23	14:25	発		ったような平らな道が続く。
	15:05	通過		水平歩道終わり。
	15:15	着	レスト	
	15:25	発		
	15:55		ケヤキ平	
	16:05			
	16:15		名剣温泉	宿泊を断られる。
	16:20			
	16:40		祖母谷温泉	夜露天風呂に入る。
1984.09.24	06:00	起床	祖母谷温泉	
	07:10	発		
	07:45	着	ケヤキ平駅	臨時列車（トロッコ）にて出発。
	08:31	発		
	10:05	着	宇奈月	
	10:45	発		
	11:14	着	魚津駅	空いている席を移動しながら、最後は食堂車で東京へ。
	11:38	発		
	17:37	着	上野駅	